

熱海市立多賀小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月1日（火）



校舎の向こうは相模湾

「本物に触ったよ！」



新型コロナウイルスの感染の影響で登呂遺跡に行けないこともあり、出前授業を希望してくださいました。教科書に載っている土器や石器などを間近に見て、触れて、大感動でした。今後の社会科の授業に役立つものになったようです。

◎土器の分類体験

静岡県内で出土した縄文・弥生・古墳時代の土器について詳しく教えてもらった後、実際に土器片を手に取り、重さや肌触り、模様などをよく比べながら、各班で分類してみました。それぞれの時代の土器の模様や厚さ、色の違いなどを話し合い、楽しみながらも真剣に分類することができました。



◎石器の試し切り体験

本物の打製石器や磨製石器を触って、感触を確かめることで、石器について更に細かく知ることができました。黒曜石が主に神津島や長野県の和田峠でしか採れない貴重な石であることを知り、大変驚いていました。次に黒曜石を使って野菜を切る体験をしました。自分たちが持ってきた野菜くずを切り、とても切れることを体験できました。



◎火起こし体験

よく晴れたこともあり、絶好のコンディションで火起こし体験ができました。弾み車をリズムよく回すことが難しかった子も、やっいていくうちに慣れてきて調子よく回すことができるようになり、火種を作ることができました。「フーフータイム」も根気よくやったことで、たくさんの班が火を起こすことができました。体験後、家に帰りすぐに親に話をしたり、お土産の黒曜石を大事にしていることを聞き、出前授業が有意義なものだったことを感じました。

